

## 第2号様式（第23条、第28条関係）

年 月 日

(宛先) 志太広域事務組合消防長

住 所  
 申告者 氏名  
 職業(職)  
 電話番号  
 印

## 不動産り災申告書

1	り災年月日	年 月 日			
	り災物件の所在地				
2	り災物件と申告者との関係		所有者・管理者・占有者		
3	建築・購入年月(記録・推定・不明)	3. 3m <sup>2</sup> 当たりの金額(千円)		総金額(千円)	
	明治 昭和 大正 平成 年 月				
4	取得後の経過(記録・推定・不明)				
	(1)	修繕・改築年月	修 繕 ・ 改 築 し た 箇 所		修繕・改築に要した金額(千円)
		明治 大正 昭和 平成 年 月			
	(2)	増築年月	増 築 の 概 要	増築面積(m <sup>2</sup> )	増築に要した金額(千円)
明治 大正 昭和 平成 年 月					
5	り災前の建物詳細				
	建物の用途	構 造	屋 根	外 壁	階 数
居住世帯数	世帯	居 住 人 員		人	
6	火災保険の契約				
	契約会社名	契約年月日	保険金額(千円)		

## 備考

- 1 この申告書は、消防法第34条第1項の規定により提出を求めるものです。
- 2 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 3 火災及び爆発による災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 4 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 5 この申告書は、建物1棟について1枚を使用してください。
- 6 この提出を求める処分について不服のあるときは、提出を求めた日の翌日から起算して3か月以内に志太広域事務組合管理者に対して審査請求することができます。

## 記載要領

### (2の欄)

り災物件と申告者との関係の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。

### (3の欄)

各欄の記入に当たっては、それが推定によるものか、記憶によるものか、あるいは帳簿や契約書などの記録によって明らかなものか、いずれか当てはまるものを○で囲んでください。

### (4の欄)

- 1 建物を取得してから、り災するまでの間に修繕又は改築した箇所を具体的に記入してください。
- 2 修繕、改築及び増築の年月日、修繕費等の記入にあっては、記録、推定又は不明で記入してください。

### (5の欄)

- 1 建物の用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業所又は工場など、使用されている用途を記入してください。
- 2 坪を平方メートルで表す場合は、3. 3倍してください。